2012年8月6日

各　位

会 社 名　　日本たばこ産業株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　小泉　光臣
（コード番号2914　東証・大証　第一部）
問合せ先　　ＩＲ広報部（TEL 03-3582-3111（代表））

導出品「MEK阻害剤」(trametinib)の米国における新薬承認申請に関する導出先の発表についてのお知らせ

当社が創製した化合物である MEK 阻害剤（trametinib）につきましては、前臨床試験段階で、2006年4月18日に英国グラクソ・スミスクライン社（以下、GSK社）へ全世界における独占的開発権・商業化権を導出しております。

以降の開発はGSK社が行っていましたが、この度、GSK社が、MEK阻害剤(trametinib)について、BRAF V600遺伝子変異陽性の切除不能または転移性メラノーマを適応症として、米国食品医薬品局（FDA）に対して新薬承認申請を行った旨発表しましたので、お知らせいたします。

＜MEK、MEK阻害剤とは＞

がんや免疫・炎症系領域の一部疾患には、正常細胞が持つ増殖制御機能が失われることによって起こる細胞の増殖が関与していることが知られています。MEKは、細胞増殖因子が細胞の受容体に結合し、核に至るまでの細胞増殖シグナル伝達経路(MAPキナーゼ経路)にあるリン酸化酵素です。MEK阻害剤は、MEKの働きを阻害（細胞増殖シグナル伝達を遮断）することにより、細胞増殖を抑制する薬剤です。

＜メラノーマとは＞

悪性黒色腫とも呼ばれる皮膚がんの一種で、皮膚の色素細胞であるメラノサイトが悪性化し、異常に早い速度で成長・分裂しながら周辺の皮膚に広がっていきます。メラノーマは早期に診断されれば概ね治癒可能な疾患ですが、転移した場合は、皮膚がんの中で致死率、悪性度が最も高いがん腫になります。

＜BRAF V600遺伝子変異とは＞

BRAF遺伝子とは細胞内のシグナル伝達と細胞の増殖に関与するBRAF蛋白を作る遺伝子で、多くのがんで変異が認められます。BRAF遺伝子変異によりBRAF蛋白の活性化状態が続くと、がん細胞の増殖や転移が促進されます。メラノーマ患者の約60％にBRAF蛋白のV600に変異が認められます。

以上